

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【117】

2. 日時：令和4年3月15日 10時00分～12時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

義崎管理官補佐、中村原子力規制専門員

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他18名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力技術部 炉心・安全室 課長代理 他1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁仲村です。それでは嶋委員 5 設工認のヒアリング、フィルターベントのヒアリング始めたいと思いますので、中国電力の方からご説明をお願いします。
0:00:17	中国電力の植田です。
0:00:19	本日のヒアリングでは、原子炉格納施設の設計条件に関する説明資料のうち、格納容器フィルタベント系の設計について、
0:00:29	前回ヒアリングの続き、別紙 1 から 6 をご説明いたします。
0:00:34	また、構造強度に関する補足説明資料についても本日もご説明いたします。
0:00:40	最初に説明資料確認させていただきます。
0:00:44	説明資料につきましては前回 3 月 3 日のヒアリング時と同じ資料となります。
0:00:53	それでは一つ目、N-S2-他-027 階 03
0:01:00	二つ目、NSII- 1-067。
0:01:07	三つ目、N-S- 1-067、括弧日。
0:01:13	四つめ、N-S II -補-011 回、05、
0:01:20	五つ目、N-S II、岡
0:01:23	-62
0:01:25	六つ目、N-S-他-063。
0:01:29	以上六つとなります。資料はお手元におそろいでしょうか。
0:01:35	規制庁仲村です。はい。大丈夫ですよろしくをお願いします。
0:01:40	ありがとうございます。
0:01:42	本日のヒアリングでは、構造強度に関する補足説明資料、補足 19、20 についてご説明させていただき、一度質疑応答した後に、
0:01:53	別紙 1 から 6 及び関連補足説明資料を通して説明させていただきます。
0:02:00	それでは、N-S2--011 回 05、
0:02:06	の、149 ページをお願いします。
0:02:14	149 ページ補足の 19 ですが、
0:02:17	こちらの資料につきましてはベント実施時に発生する荷重を整理しその影響を確認しております。
0:02:26	150 ページをお願いします。
0:02:29	ベント実施時にスクラバ容器に発生する荷重といたしましては、中段付近に記載のaぽつからCぽつに示します。
0:02:40	これらについて、容器と内部構造物に対し、その荷重の影響を確認することで、
0:02:47	構造強度に影響があるかないかを確認しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:51	なお、内部構造物の評価につきましては後程説明いたします補足の 20 でご説明いたします。
0:03:00	次ページ以降で、スクラバ容器本体に対する評価を示します。
0:03:07	151 ページをお願いします。
0:03:11	2 ポツ 1 に、先ほどのポツ、スクラビング水の放出によるクリアリング荷重による影響を示します。
0:03:19	スクラバ容器内の圧力はクリアリング荷重による圧力を考慮しても、最高使用圧力以下であり、最高使用圧力に対する強度評価に包絡されるため、影響はないものと考えております。
0:03:34	152 ページをお願いします。
0:03:38	2 ポツ 2 に、bポツ、窒素ガス紛失時のクリアリング荷重による影響を示します。
0:03:46	窒素ガス紛失時、気泡の形成による荷重等がスクラバ容器内面に採用しますが、
0:03:53	窒素ガス紛失時気泡は瞬時に水面に到達することから、気泡の膨張収縮による圧力脈動による影響は小さいと考えられ、
0:04:05	水面上昇もわずかであることから、スクラバ容器の影響は軽微であると考えております。
0:04:12	続きまして、2 ポツ 3 に、
0:04:16	cポツ、蒸気噴出時の蒸気凝縮による荷重による影響を示します。
0:04:23	運転環境を模擬した試験にて計測された圧力変動は、
0:04:28	疲労破損を生じさせるような変動ではなく、
0:04:32	また、最大値が作用した場合においても、
0:04:35	2 ポツ 1 でご説明いたしましたベントガス紛失におけるスクラバ容器の強度評価に包絡されるため、影響はないものと考えております。
0:04:47	以上が補足の 19 のご説明となります。
0:04:53	続きまして、
0:04:55	159 ページをお願いします。
0:05:00	補足の 20 では、
0:05:03	スクラバ容器の内部構造物に対する強度の影響を説明しております。
0:05:09	設置許可審査においては、先ほど説明いたしましたクリアリング荷重がかかる分岐管等の強度を説明してはいたしましたが、
0:05:21	工事計画審査においては、設置許可審査時の説明に加えて、盤バウンダリーを構成する部位について、その評価結果を示しております。
0:05:32	159 ページからきやスクラバ容器の評価をしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:37	162 ページをお願いします。
0:05:42	(2) 応力評価部位に示す部位について、構造評価を示しております。
0:05:49	こちらの部位の選定についてはバウンダリとなる機器を選定しており、バウンダリが維持できない場合に各フィルターをバイパスしてしまう恐れがあるため、
0:05:59	これらの部位を選定しております。
0:06:03	165 ページをお願いします。
0:06:08	協賛応力評価部位の詳細。
0:06:12	に示す評価方法を用いて各部の発生応力を算出しております。
0:06:20	166 ページをお願いします。
0:06:24	兵庫許容応力に各部の許容力を示しております。
0:06:29	これらの協力は、設計建設規格に基づき設定をしております。
0:06:35	168 ページをお願いします。
0:06:41	表 8 内部構造物評価法に示す評価方法の欄に示します式により、各応力を算出しております。
0:06:53	174 ページをお願いします。
0:06:59	1.5 に評価結果を示します。
0:07:03	各部位の評価結果を、
0:07:05	確認したところ、すべての部位で許容力を満足することを確認いたしました。
0:07:12	176 ページ以降銀ゼオライト容器についても評価を記載しておりますが、
0:07:17	評価の流れについては同様であるため本日は説明を割愛させていただきます。
0:07:24	以上が補足の 20 になります。
0:07:29	以上で構造強度に関する補足説明資料の説明は終わりとなります。
0:07:36	ご確認事項等ございましたらよろしくをお願いします。
0:07:47	規制庁中根瀬戸Webの方から、どなたか何かありますでしょうか。
0:08:02	すいませんウダガワですけれども。
0:08:06	160 何当時の 167 ページの表 6。
0:08:12	L03 のクリアリングか 10A の F 一位の、
0:08:17	算出方法について説明いただけますでしょうか。
0:08:29	中国電力の植田です。同じ補足説明資料の通しページで 191 ページをお願いします。
0:08:40	こちらでスクラバ容器の内部配管に作用する流体力ということで先ほどのクリアリング荷重を含めた荷重を説明しております、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:52	弁当時に発生する荷重としては0-1に示す、ベントスクラビング水排出時のベンチュリノズルに左右する荷重、
0:09:02	が、先ほどのクリアリング荷重で②に示すベントガス噴出時の荷重というものがあまして、
0:09:10	192 ページではクリアリング荷重の、
0:09:14	を計算しております。詳細な計算については 193 ページのほうに示しております、
0:09:21	一番下、よって、FY=のところに記載しております荷重がクリアリング荷重として発生いたします。
0:09:29	194 ページをお願いします。
0:09:33	こちらで先ほど二つ目の荷重としてご説明させていただきましたベントガス紛失荷重といったものを計算しております、こちら最下から2、
0:09:45	3 段落目、よって、不安＝
0:09:49	のところに示す荷重がかかっておりまして、
0:09:53	双方を比較して一番大きい方ということで栗崎、先ほど説明させていただきました丸野市の荷重の方、クリアリング荷重を選定しております。
0:10:04	以上です。
0:10:11	はいわかります算出過程で用いている。
0:10:15	圧力とか流速のパラメーターはどうやって求めたんでしょうか。
0:10:25	中国電力の上田です。193 ページをお願いします。
0:10:31	こちらで、各部の各パラメーターの方設定しております、
0:10:37	圧力についてはPIとPO、
0:10:40	それぞれ設定をしておりますPI側については、原子炉格納容器の最高使用圧力の二倍、
0:10:47	PO側については大気圧を設定しております絶対圧で書いておりますので、大気圧の方はゼロにはなっておりません。
0:10:56	こちらの数値を用いて、部岩井部岩井恵奈の流速の方を計算させておりまして、その結果から、
0:11:06	クリアリング荷重というのを算出しております。以上です。
0:11:13	わかりました
0:11:14	最高使用圧力を設定するということで、非常に保守的な値になってるってことはわかりました。
0:11:22	で、あとちょっとわからなかったのが、193 ページのF1 と 194 の不一致をそれぞれ求めているんですけど、
0:11:34	この

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:35	何が違うか、もう一度説明いただけますでしょうか。
0:11:44	中国電力の上田です。191 ページをお願いします。
0:11:50	こちらの①、②の方が先ほどのクリアリング荷重とベントガス紛失時の荷重ということでそれぞれ、不安という希望にはなってますけどそれぞれを算出したものになりまして、
0:12:03	丸の 1 については弁当実施直後に、入口配管等に入ってるスクラビング水を、
0:12:12	ベントガス事前窒素封入された窒素ガスが押し出す形にはなるんですけど、スクラビング水を押し出した時の荷重がまず、
0:12:22	内部にかかるといった荷重になっております。丸の 2 番についてはその後出てくる窒素ガスが、今度またベンチュリノズルのところに荷重をかけているということで、
0:12:34	二つの荷重はそれぞれちょっとタイミングが違うということで別荷重として評価しております。以上です。
0:12:49	わかりました。
0:12:55	169 ページをお願いします。
0:12:58	衛藤 169 ページの、
0:13:03	今日なんですけれども、
0:13:06	今ご説明いただいた、
0:13:08	F。
0:13:09	については、
0:13:13	3 行目のクリアリング荷重のFに入力しているという理解でよろしいでしょうか。
0:13:26	中国電力の上田です。
0:13:29	3 行目といいますのが評価部位でいうベンチュリノズル取付ボルトの欄であると思っております、そちらについてはクリアリング荷重がかかりますので、評価方法に記載の欄のF、
0:13:43	2 クリアリング荷重による実軸力ということで、こちらを
0:13:49	入力する形で、応力を出しているものになります。以上です。
0:13:56	ありました。
0:13:57	同じ表今日の
0:13:59	一行目の、
0:14:02	ベンチュリノズルカバープレートのクリアリング荷重にはFが、
0:14:07	入ってないようなんですけど、どのようにクリアリング荷重を考慮しているのか、説明いただけますでしょうか。
0:14:26	中国電力植田です少々お待ちください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:06	中国電力の植田です。
0:15:09	Fにつきましては、こちらの式でいう、
0:15:14	モーメント、Mを算出する中で使用しているということでこの式上は示せておりませんが、先ほどのクリアリング荷重F案を、
0:15:25	モーメントに仮換算したものをこちらに入力して、
0:15:29	応力を出しているという形になります。以上です。
0:15:35	はいわかりました。
0:15:38	一体ワンサービスパワー
0:15:40	以上になります。
0:15:51	施設ハットリですけど、よろしいでしょうか。
0:15:56	お願いします。
0:15:58	そうですね。
0:16:01	応力を評価する際に投資の
0:16:05	168 ページから、表 5 で、理論式が書いてあって、172 ページに、
0:16:17	梁モデルですね、173 ページがシェルモデルっていうふうに、三つのやり方で混在して使い分けてるようなんですが、結果として、174 から 175 ページにある。
0:16:30	今日の 9 から 13 なんですが、このモデル核や、公式とかモデル化、モデルなんかと、
0:16:38	この結果とのそれぞれの対応はどうなってるんでしょうか、どれが。
0:16:43	どのやり方を使って、それぞれ、この表 9 から 13 ができてるんでしょうか。
0:16:55	中国電力の植田です。
0:16:58	供給から表 13 のところにつきましてPワンピース等の応力種類ということで、各応力の評価部位を記載しております、
0:17:11	それらが、先ほどご説明させていただきました 168 ページの表、
0:17:17	8 の評価部のPワン
0:17:20	括弧入口配管等の評価部。
0:17:24	同じ。
0:17:26	ものになっておりますのでこちらの表の算出方法、やはり入口配管で言いますと、内圧による下応力を算出いたしましてそちらを組み合わせ応力として、
0:17:38	算出した結果を、
0:17:40	今日の給油の方で評価している。
0:17:44	形になります。
0:17:46	以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:50	規制庁羽鳥です。表 5-9 から 13 はそうするとすべてこれ、理論式で出てくる結果ってということでしょうか。
0:18:03	中国電力の植田です。
0:18:07	168 ページの表の 8 の方お願いします。
0:18:12	こちらでお示しております、BII分岐管というところで評価部位といたしましては分岐管とベンチュリノズル取り合いフランジのつけ根分。
0:18:23	トブン期間サポートにつきましては、解析により評価しております、172 ページ 173 ページの方にお示しておりますモデルにより、
0:18:35	各部の応力を算出しております。
0:18:38	なので、174 ページ。
0:18:42	後、押しお示させていただいております表の 9。
0:18:46	て言いますと、BIIの分岐管、
0:18:49	とAP同じP II ですがベンチュリノズル取り合いフランジつけ根分。
0:18:54	宇都表の中、
0:18:57	も、P II 分岐管サポートでお示させていただき待つております時につきましては解析により、
0:19:05	算出したものになります。それ以外については、理論式により算出したものになります。以上です。
0:19:14	施設のハットリです。わかります対応わかりました 9、表 9 の、
0:19:21	うちと表示の一つと。
0:19:23	はい、わかりました。私から以上です。
0:19:34	規制庁の吉崎です。先ほど宇田川が言ったページで 162 ページの、
0:19:41	ベンチュリノズルの
0:19:44	図のところなんですけども、9、100 が 192 ページですね。
0:19:51	ちょっと水位の関係で少し前回、ちょっと肝記憶を取り戻しながらですけども、カンケイスイの水と、
0:20:01	ベンチの長さだと、少しこの頭が出ちゃうような推移になってるので、
0:20:10	この
0:20:11	水位設定するときの 0Bのところは、この図で言うと、どこなのか、明確にさせていただきたいんですけども、可能でしょうか。説明できれば説明ください。
0:20:54	規制庁の井関ですと聞こえているでしょうか。
0:20:58	中国電力の内藤です。
0:21:00	すいませんマスキング内容かどうかちょっと、
0:21:03	確認しないと回答が難しいのですが、
0:21:09	0mmの場所はわかっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:13	ちょっと、
0:21:14	うまく確認しております。
0:21:17	回答が6場できるかどうかを、
0:21:21	以上です。
0:21:23	規制庁の井関麻生であれば02のところの、
0:21:29	場所を示していただきたいという文章中で要は、どこで0とするとかっていうのが、記載があればそれでいいんですけど。
0:21:36	記載とあわせてその図示で、
0:21:40	スクラビング野洲E-0 三野支店はここですというのがわかれば、
0:21:45	最低水位と、この弁チーズの高さの関係がわかるので、
0:21:52	趣旨としてはその頭が出ないよねっていう確認をさせていただきただけなんですけども。
0:21:56	可能でしょうか。
0:22:01	中国電力の内藤です。
0:22:03	はい。0mmとしてる位置。
0:22:06	を示したいと思います。
0:22:10	少々お待ちください。
0:22:19	はい。0ミズノ1と□の位置がどこなのかというのは示したいと思います。以上です。
0:22:31	規制庁ナカムラすみません先ほど、数値がまずじゃないでしょうか。
0:22:42	中国電力内藤です。失礼いたしました。□ですが削除をお願いします。
0:22:51	規制庁の吉武です。せっかく注意してたんですけど、しょうがないですね、後でね。で、聞いたかったのは、この最低水位と、このスプレイングのベンチュリノズルの頭のところが、
0:23:05	露出しないよねって確認したかったんですけども、それは、
0:23:09	どうでしょうか。
0:23:14	中国電力の植田です。そちらについては後程別紙の4の方で水の話をしていただくときに詳細にご説明はいたしますが、運転中を通じて、
0:23:25	最低水位になることはなくてその最低水位につきましてはベンチュリノズルの頭よりも高い位置に設定をしております。以上です。
0:23:37	規制庁の吉田です。はい、わかりました。了解しました。
0:23:41	私から以上です。
0:23:49	規制庁仲村ですすみませんと私が理解できてないんで、確認なんですけど
0:23:56	120、172 ページのBモデルと、
0:24:02	173 のシェルモデル。
0:24:04	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:05	前回のところで、
0:24:08	ベンチュリノズルの予備ちよつと移行当時てる部分があるってということで、お話があったと思うんですけど、
0:24:16	藤委員モデルの方だと、それが図示されてると思うんですけど、シェルモデルで実施されないって何か、解析に必要ないかとかそういうことですかね。
0:24:35	中国電力植田です。少々お待ちください。
0:25:18	中国電力の植田です。お待たせいたしました。
0:25:26	169 ページをお願いします。
0:25:31	こちらの表はちいでベンチュリノズルの荷重の評価についてご説明をさせていただいております、ベンチュリノズルにつきましては、
0:25:41	解析で求めたものではなくて、
0:25:44	理論式により算出したものになっておりますので、モデル上、ベンチュリのブルーについては、表現を、
0:25:53	モデル化されていないというところで、
0:25:56	先ほど、つけ根部分につきましては、これ解析により評価しておりますので、評価対象とするつけ根分をモデル化しているものとなります。
0:26:07	以上です。
0:26:16	規制庁中瀬つけ根分っていうのはすいませんちよつとマッチングだと思うんですけど、どんなベンチュリノズルのスケールっていうことで、
0:26:34	中国電力の植田です。
0:26:36	こちらの 173 ページの図 5 でいいです、緑色の範囲と黄色の範囲の、
0:26:44	ちょうど境界の辺りを示しております。以上です。
0:26:58	規制庁ナカニシ経年がその境界、
0:27:02	ていうのは理解したんですけど、そうすると、
0:27:08	シェルモデルの
0:27:10	閉じてる部分っていうのも、その協会はあるんじゃないかなと思うんでそこはいかがでしょうか。
0:27:34	中国電力植田です。少々お待ちください。
0:28:05	中国電力植田です。もう、少し確認とさせていただきますので、後程ご回答という形をさせていただきたいと思います。
0:28:15	その他ございましたらよろしくをお願いします。
0:28:18	規制庁、仲村ですわかりましたちよつとそもそものちよつと疑問としては、なぜ違うのかっていうことでさっき理論式、日本城野式を使っておられたっていうこと日本式で、
0:28:31	評価されたってことなんですけどそうすると、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:34	別にそのモデルと一緒にいいんじゃないは、Bモデルとするものに、モデル違いますけど構造は一緒にいいんじゃないかなと思ったんで片方違うっていうのがちょっと疑問だったのでそこそもそも趣旨はそういうことなので、
0:28:47	それも含めて、またご回答いただけますよろしく申し上げます。
0:28:54	中国電力上田です。了解いたしました。
0:29:05	とは、規制庁中道衛藤。
0:29:08	例えば山野ホリノさん何かありますでしょうか。
0:29:14	規制庁堀野です。ちょっと教えていただきたいんですが、
0:29:18	通しページの 167 ページに
0:29:22	過剰条件がありますけれども、
0:29:25	ここで用いてる荷重は一次応力に関係するものなんですけども、
0:29:31	一次＋二次っていいですか共同計算がそれが出てくるんですけど、
0:29:36	この場合は自己自主
0:29:40	の話なんでそういうのはいらないってことだと思うんですけど、それはどっかに断ってありますでしょうか。
0:30:06	中国電力の上田です。ご認識の通り、フィルタベント系につきましては事故時に起動する回数が少なく、また二次応力の代表としてよく考えられています。
0:30:21	熱影響につきましても最初の 1 回の昇温でほとんど終わってしまいますので、二次応力ではなくて一次の方で評価をさせていただいております。
0:30:33	こちらについてご説明を記載しておりませんので、記載の方検討させていただければと思います。以上です。
0:30:41	規制庁堀野ですよろしく申し上げます。私からは以上です。
0:30:54	規制庁仲村です。はい。では、とりあえず、先ほどのご説明の、こちらからのコメントは以上となりますので、
0:31:04	続いて、別紙 1 以降のご説明をお願いできると思いますがよろしいでしょうか。
0:31:14	中国電力上田です。
0:31:16	それでは比較表のほうを用いてご説明させていただきます。
0:31:22	資料番号N-S2.1-067 括弧日、
0:31:28	-132 ページをお願いします。
0:31:33	別紙の 1 では、格納容器フィルタベント系の可燃性ガスの爆発防止対策についてご説明いたします。
0:31:42	格納容器フィルタベント系は、系統内で可燃性ガスの爆発が発生した場合に期待している放射性物質低減効果を喪失する恐れや、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:53	保持している放射性物質を外部に放出する恐れがあるため、設計及び運用により、系統内での可燃性ガス爆発を防止しております。
0:32:05	133 ページをお願いします。
0:32:09	(2)では、各系統の運転状態における設計上の考慮を説明しております。
0:32:17	ポツではプラント通常運転中についてご説明いたします。
0:32:22	プラント通常運転中においては、格納容器と同様に、系統内を窒素ガスで不活性化する設計としております。
0:32:31	134 ページをお願いします。
0:32:35	bポツにつきましては、重大事故等時において、ベント実施前の状況を説明しております。
0:32:43	ベント実施前については、原子炉格納容器からのガス流入がないため、不活性化が維持されているものとなります。
0:32:54	136 ページをお願いします。
0:32:57	cポツの方で、ベント実施直後の方をご説明させていただきます。
0:33:03	ベント実施直後は、ベントガス中の蒸気がスクラビング水によって凝縮させるされた場合、酸素濃度が上昇することで水素爆発が発生する恐れがありますが、
0:33:16	原子炉格納容器内の酸素濃度を監視し、酸素濃度の可燃限界に対し、計器誤差、余裕を考慮し、ベント実施基準を設定していること。
0:33:27	ベント実施直後のベントガスの組成としては、水蒸気、水素ガス、窒素ガスが支配的であり、酸素ガスがほとんど含まれていないこと。
0:33:38	また、格納容器フィルタベント系の系統内が不活性化されているため、
0:33:43	仮にベントガス中の蒸気すべてがスクラビング水によって凝縮された場合においても水素爆発は発生しないと考えております。
0:33:54	137 ページお願いします。
0:33:59	カッコdで枝管における、
0:34:02	水素ガス及び酸素ガスの蓄積について説明しております。
0:34:08	こちらにつきまして評価対象とする枝管に先行審査プラントと差異がありまして、島根 2 号機は、今後ガスの蓄積が生じる可能性がレーダー管として、
0:34:20	ガイドラインに従い、上向き枝管と水平枝管のうち、上り勾配があるものを選定しております。
0:34:28	また、水平高のうち、勾配がないものについて、ガイドラインでは、今後ガスが蓄積する可能性がある枝管として、評価対象に、
0:34:38	なっていませんが、水平配管、上り勾配のある、
0:34:43	枝管の評価方法を準用し参考に評価しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:48	評価方法については補足説明資料を準備しておりますので、後程説明させていただきます。
0:34:58	140 ページをお願いします。
0:35:02	表の 1-1 に評価結果を示します。
0:35:07	評価対象とした水、水ヒダカン。
0:35:10	等につきまして混合ガス蓄積の可能性がないことを確認しました。
0:35:16	なお、丸の中で示します、非常用ガス処理系との隔離弁までの枝管については、
0:35:23	上向き分岐する組み合わせだからであり、次、今後ガスの蓄積する可能性があることからバイパスラインを設置いたします。
0:35:33	142 ページをお願いします。
0:35:37	1-5 に、先ほど設置いたしますと説明いたしました、バイパスラインを図示しております。
0:35:44	緑色で着色した枝管が、非常用が処理系と隔離弁までの枝管となります。
0:35:52	V26-12 の上流側で上向きに分岐している黄色い売買ラインがバイパスラインとなり、
0:36:00	ベント実施時には連続して、
0:36:03	ライン内緑色のラインのガスを主配管側に排出していきます。
0:36:12	144 ページをお願いします。
0:36:16	こちらの黄色ハッチング部分について、用語の統一のため、水素ガスに記載を適正化しております。
0:36:25	146 ページをお願いします。
0:36:29	dポツで系統運転状態に対する評価の説明に戻らせていただきます。
0:36:35	こちらでは、費用肅清ガス排出後、
0:36:39	についてご説明させていただきます。
0:36:43	可燃性ガスを含む非凝縮性ガスの排出。
0:36:47	した後の状態であるため格納容器はほぼ水蒸気で満たされており、系統へ流入するガスもほぼ水蒸気であると。
0:36:55	であるため、
0:36:56	水素爆発はしないと考えております。
0:37:01	147 ページをお願いします。
0:37:04	2 ポツで、事故収束状態の、
0:37:08	ご説明をさせていただきます。
0:37:10	ベント停止後、スクラビング水の放射線分解により、
0:37:14	水素ガス及び酸素ガスが発生するため、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:18	ベント停止前には、可搬式窒素供給装置により窒素ガスを供給し、
0:37:23	ベント停止後も連続的に窒素ガスを供給することで、系統内をパージし、水素バス水素爆発を防止します。
0:37:36	151 ページをお願いします。
0:37:40	こちらの黄色ハッチング部分について、用語の統一のため、適正化をさせていただいております。
0:37:49	154 ページをお願いします。
0:37:53	2 ポツ、第 1 弁とフィルター格納槽ということで、格納槽内に水素ガスが漏えいした場合の評価を実施しております。
0:38:02	こちらにつきましては島根 2 号機はスクラバ容器他を地下の格納槽に設置しております、スクラバ容器等から水素ガスが漏えいした場合に、
0:38:12	水素爆発を発生する可能性があるため評価をしております。
0:38:17	また、二つ目の相違理由のところに記載しておりますが、イシマル 2 号機のスクラバ容器のマンホールは溶接構造となっており、漏えい防止を考慮した設計としておりますので、
0:38:29	スクラバ容器からの漏は漏えい経路として考慮しておらず、銀ゼオライト容器に附属しておりますフランジからの漏えいを想定して評価しております。
0:38:44	157 ページをお願いします。
0:38:48	表の 2-1 に評価条件を示しております。
0:38:52	こちらの漏えい。
0:38:55	条件につきましては、有効性評価結果等の相違により評価条件が先行審査プラントとは異なっております。
0:39:04	Cポツに漏えい評価結果を示します。
0:39:09	先ほどの評価条件の相違により評価結果が異なりますが評価方法について大きな相違はなく、
0:39:17	また、影可燃限界以下に維持されていることを確認しました。
0:39:26	168 ページをお願いします。
0:39:31	こちらから別紙 2 のご説明になります。別紙の 2 では格納容器フィルタベント系の系統設計条件を示しております。
0:39:40	表の 1-1 に示す設計条件について、次ページ以降、詳細にご説明させていただきます。
0:39:49	169 ページをお願いします。
0:39:52	2 ポツ、最高使用圧力及び最高使用温度になります。こちらで、島根 2 号機の特徴がございまして、最高使用圧力については先日ご説明させていただいた通り、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:05	流量制限オリフィスでの減圧を考慮し、オリフィスの上流側と下流側で異なる最高設定使用圧 0 最高主圧力を設定しております。
0:40:17	170 ページをお願いします。
0:40:20	図 2-1 に各部の圧力挙動を示しております。真ん中付近にオリフィス入口出口の圧力を示しており、
0:40:30	先ほどご説明いたしましたオリフィスの減圧を示しております。
0:40:38	172 ページをお願いします。
0:40:41	3 ポツでは、系統流量の設定についてご説明させていただきます。
0:40:47	冷凍流量につきましては格納容器圧力が 1Pd の時に定格熱出力の 1% が排出できるように設定しております。
0:40:59	173 ページをお願いします。
0:41:03	4 ポツでは、スクラバ容器内の発熱量、
0:41:07	をご説明いたします。
0:41:09	スクラバ容器内の発熱量は、ベント実施時の原子炉の崩壊熱に対し、格納容器への放出割合等を考慮し設定しております。
0:41:23	176 ページをお願いします。
0:41:26	5 ポツでは、エアロゾル移行量についてご説明いたします。
0:41:31	エアロゾル移行量につきましては、核分裂生成物の炉内内蔵量、
0:41:37	2、格納容器への放出割合等を考慮して算出した。
0:41:41	量に対して、海外規制の、
0:41:44	規定を踏まえ、
0:41:45	設定しております。
0:41:49	178 ページをお願いします。
0:41:54	こちらのページの黄色ハッチング部分について、用語の統一のためペDESTAL を原子炉格納容器下部に適正化しております。
0:42:05	180 ページをお願いします。
0:42:10	医師さんにつきましては流量制限オリフィスの設定方法についてご説明させていただきます。
0:42:17	島根 2 号機は格納容器圧力が 1Pd のときに設計流量が流れるようオリフィスの流出断面積を設定しておりまして、具体的にはページ下の方になりますが、
0:42:30	①から③に示すように、オリフィス上流側、下流側の圧力条件を求め、この条件下で設計流量替えられるよう、流出断面積を設定しております。
0:42:47	186 ページをお願いします。
0:42:52	それから別紙 4 のご説明となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:57	別紙 4 では、スクラビング水の水位の設定根拠とその健全性について説明しております。
0:43:07	こちらにつきまして島根 2 号機と新先行審査プラントとの相違がございまして、島根 2 号機は保有水をベント実施中の水位評価により設定しております、
0:43:18	ベント実施中にスクラビング水の排水補給が不要な設計としており、
0:43:24	先行審査プラントのうち柏崎 7 号と、水位設定の考え方が異なるため、本比較表では東海第 2 との比較を記載しております。
0:43:35	なお、東海第 2 等の評価方法に大きな違いはなく、数値等が異なっているものと考えております。
0:43:44	76 ページの下段の方、管理値遂行、通常水位待機時の遂行につきましては、ベント開始初期における凝縮水による水位上昇を考慮しても、
0:43:58	上限水位として設定した水位に至らないことを確認して設定しております。
0:44:04	188 ページをお願いします。
0:44:08	1.2 にお示いたします通り、管理値の推定につきましては、系統設計条件、
0:44:16	となっておりますスクラバ容器内の発熱量、
0:44:19	に対し水位低下が 24 時間以上継続しても下限水位に至らないことを確認し設定しております。
0:44:29	190 ページをお願いします。
0:44:32	マスキング内の黄色ハッチング部分になりますが、こちらの記載について先行審査プラントの記載を参考に記載を拡充しております。
0:44:48	197 ページをお願いします。
0:44:52	1.3 では、実際のベント時のスクラバ容器内の発熱量用いて水位挙動を評価し、
0:44:59	事象発生後 7 日間の数、水の補給が不要なことを確認しております。
0:45:06	197 ページ下段の下の方の黄色ハッチング部ですが、後程説明いたします 201 ページの図 1-3 に示すように、
0:45:17	水位挙動の評価ではウェットウェルベントとD/Wベントそれぞれに対して評価を実施しております、ドライウェルベント時の条件の記載がなかったため追記をしております。
0:45:29	また別途植えるベント時の条件について単位キロワットまでマスキング範囲に含めておりましたが単位につきましては、マスキング範囲から除外させていただいております。
0:45:43	199 ページをお願いします。
0:45:47	こちらのページの黄色ハッチング部につきましても先ほどのドライウェルベント時の発熱量の条件の追記をさせていただいております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:58	また、の 3、上のベント時間の方に記載しております。*
0:46:04	の 1 を、もともとは、スクラバ容器内発熱量の方に記載しておりましたが、ベント時間に関する注記のため、記載のほうを訂正させていただいております。
0:46:18	201 ページお願いします。
0:46:21	図 1 の差に、
0:46:23	示すように、弁当実施開始から 7 日間につきましては、
0:46:29	上限水位、下限水位に至ることはなく排水補給ともに不要ことを確認しております。
0:46:37	202 ページお願いします。
0:46:41	2 ポツ、
0:46:42	スクラビング水の健全性のうち、スクラビング水のpHについての
0:46:47	評価結果をご説明させていただきます。
0:46:51	ラビング水は、無機ヨウ素をスクラビング水中に捕集、保持するためにアルカリ性の状態を維持する必要がありますが、
0:46:59	事故当時におきましては、格納容器内からの、
0:47:03	3 の移行が考えられますので、これらの酸の量に対してアルカリ性を維持できることを本項では確認させています。
0:47:12	また、凝縮水による記者食うが発生する可能性もありますので、今日、凝縮水による希釈についても考慮した評価となっております。
0:47:23	205 ページをお願いします。
0:47:28	こちらのページの黄色ハッチング部分につきまして先ほど説明させていただいた内容と同じく、ペDESTALについて原子炉格納容器下部に適正化させていただいております。
0:47:41	207 ページお願いします。
0:47:45	こちらにつきましても同様に黄色ハッチング部の方、適正化させていただいております。
0:47:53	209 ページお願いします。
0:47:57	マスキングの中にある黄色ハッチング部ですが、もともと薬品名と 4 名が混在していたため、今回、4 名に統一させていただいております。
0:48:10	210 ページをお願いします。
0:48:13	210 ページの黄色ハッチング物について、記載の統一のため適正化しております。
0:48:22	211 ページお願いします。
0:48:26	こちらの黄色ハッチング部につきましても先ほどの記載の適正化と同様に、他の記載と合わせる形で適正化をさせていただいております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:38	213 ページをお願いします。
0:48:43	203 ページ、13 ページに評価結果を示しており、凝縮水による希釈を考慮しても、十分にアルカリ性を維持できることを確認しております。
0:48:56	217 ページをお願いします。
0:49:02	2.2 ではスクラビング水の粘性による影響を評価しております。
0:49:07	ベント実施により、格納容器からエアロゾルが移行すると、スクラビング水の粘性が変化し、除去性能に影響する可能性があることから、
0:49:17	その影響を評価しております。
0:49:20	評価結果として、エアロゾルの移行による粘性が変化したとしても、その変化の量は十分小さく、除去性能に影響はないと。
0:49:30	いうことを確認いたしました。
0:49:33	218 ページをお願いします。
0:49:36	ホームページの黄色ハッチング部分について誤記がございましたので表番号を訂正させていただいております。
0:49:44	220 ページをお願いします。
0:49:48	220 ページの黄色ハッチング部分につきまして、引用文献と参考文献といった記載が混在しておりましたので、委員参考文献。
0:49:58	に統一させていただいております。
0:50:03	223 ページをお願いします。
0:50:07	ホームページの黄色ハッチング部につきまして、単位を他の記載と統一すること、観点から適正化させていただいております。
0:50:19	225 ページをお願いします。
0:50:24	225 ページの黄色ハッチング部分につきまして、記載の明確化のため適正化をしております。
0:50:32	226 ページをお願いします。
0:50:36	226 ページの黄色ハッチング部分につきましては先行審査プラントの記載を参考に記載を適正化しております。
0:50:47	230 ページをお願いします。
0:50:51	別紙の 5 では、フィルタベント系隔離弁の人力操作について説明します。
0:50:57	久納容器フィルターベント系の隔離弁は中央制御室からの操作ができない場合にも、現場の隔離弁操作場所から遠隔手動弁操作機構を介して人力により弁を操作できる設計としております。
0:51:13	遠隔手動弁操作機構による操作は、原子炉附属棟から可能であり、重大事故等時の作業員の放射線被ばくを考慮した設計としております。
0:51:24	231 ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:28	図 1、図 2 について、弁名称の統一のため、
0:51:33	記載を適正化しております。
0:51:36	232 ページをお願いします。
0:51:40	図 1-3 についても、先ほどのページを同じように、弁明書の統一のため、
0:51:46	記載を適正化しております。
0:51:50	以上が別紙の 1 から 5 のご説明となりまして別紙の 6 についてはちょっと説明者のほうを交代させていただきますので、先に関連補足説明資料、
0:52:01	ご説明をさせていただきます。
0:52:04	N-S2-ホ-011 回 05-284 ページをお願いします。
0:52:15	6-30 では、先ほど別紙の 1 でご説明いたしましたヒダカに対する今後ガスの蓄積評価を補足説、補足する説明資料を作成しております。
0:52:28	今回評価対象につきましては主ラインから分岐する配管のうち、上向き枝管については、主ラインの内部流体の流れにより、枝管内に換気流れが発生し、
0:52:40	この換気流れが江田管内二相に侵入することができる、可能な深さを評価することで、蓄積の可能性を評価しております。
0:52:51	また、水平配管のうち上り勾配のある枝管につきましては、今後ガスの濃度山に起因する自然対流と、枝管内の内部流体の凝縮による、
0:53:03	主ラインの内部流体への
0:53:06	内部流体の、
0:53:08	枝管への流入のバランスにより、混合ガスが可燃限界を超えて蓄積しない長さが決まる。
0:53:15	ており、この長さを評価することで、
0:53:18	蓄積の可能性の評価をしております。
0:53:22	285 ページをお願いします。
0:53:26	図 1 に評価対象とする枝管の系統上の位置を示します。
0:53:33	286 ページをお願いします。
0:53:37	286 ページ。
0:53:40	287 ページでは評価対象とする枝管の鳥瞰図を示しております。
0:53:48	287 ページをお願いします。
0:53:51	2 ポツ、評価内容で、
0:53:54	実際の評価対象として、
0:53:56	上向き枝管と上り勾配の水平だ間は、島根 2 号機がございませんので勾配のない水平高についての評価を示しております。
0:54:07	水平の内、R勾配のない水平高につきましては、ガイドラインの評価方法に従い、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:14	NバーD、
0:54:16	を求めて、不燃限界長さの判定値を比較することで、今後ガスの
0:54:22	蓄積可能性について評価をしております。
0:54:26	また、組み合わせ高につきましては、別紙 1 側でもご説明した通り、今後ガスの可燃限界を超えて蓄積する可能性があることから、
0:54:37	LバーD等による評価ではなく、バイトバイパスラインを設置することで対策を講じているものとなります。
0:54:45	288 ページをお願いします。
0:54:49	2.3 に先ほどご説明いたしました。
0:54:52	水平配管のうち勾配のない早い枝管についての評価結果を示します。
0:54:58	こちらのLバーDの欄と、不燃限界長さの判定値の欄を比較し、
0:55:05	不燃限界長さの判定値以下であることを確認いたしましたので、
0:55:10	すべての配管において今後ガスの蓄積の可能性がないことを確認しております。
0:55:16	以上となります。
0:55:19	これは説明者の方を交代させていただきます。
0:55:25	中国電力の竹内です。
0:55:28	別紙 6 の説明をさせていただきます。
0:55:31	こちらはベント実施に伴う現場操作の被ばく評価について説明した資料になっています。
0:55:38	まずは全体の話になってしまいますが、記載の適正化箇所については、補正申請時点では、当社設置許可まとめ資料ベースで作成していましたが、他社の工認資料の状況、
0:55:51	踏まえて充実化等させていただいてございます。
0:55:54	内容を変えるものではございませんので、細かい点に関しては説明を割愛させていただきますが、大きな箇所については、資料の説明の中で説明をさせていただきます。
0:56:06	比較表の方、ページ数 233 ページをご覧ください。
0:56:16	別紙 6 の資料構成等をしまして、当社は柏崎の資料ベースで作成をしているため、当会とかなり記載が異なっております。
0:56:25	ただ、備考欄に記載の通り、内容としては概ね同等なものを記載しています。
0:56:32	その上で、設備や運用上の相違から、評価上差異が生じる主な内容については、備考欄、例えば、233 ページ備考欄の上部でございますが、
0:56:45	当社は、ベント弁の数、現場操作 5 人、操作エリアにとどまらず、中央制御室に移動するため、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:52	弁操作場所にとどまる設備を設けていない点、
0:56:56	こういったことや、256 ページをご覧ください。
0:57:03	こちらの備考欄、中部も、
0:57:06	ところになります。当社は第 2 弁、第 1 弁という順番で、ベント弁の開操作を実施するため、第 2 弁操作時に、ベント配管は線源とならない。
0:57:17	そういった点。
0:57:18	また、265 ページ。
0:57:22	中頃になります。
0:57:25	当社はベント弁。
0:57:26	操作におけるアクセスルートは屋内同等のみになります。
0:57:31	こういった点について大きな相違点については比較表上、もちろん記載してございます。
0:57:39	トーカイと大きく相違ございますので冒頭に戻る。
0:57:44	233 ページに戻らせていただいて、柏崎の相違点について、主な点について説明をさせていただきます。
0:57:53	233 ページ下部になります。
0:57:59	想定する作業と作業時間THAI作業エリアについて説明をした記載でございます。
0:58:05	評価条件の層位とつきましては、当社は作業時は作業場所、移動時は、移動経路を代表する地点で評価をしております。
0:58:15	例えば第 1 名の操作位置はリアクタービルの 1 階または二階になるんですけども、移動経路としては、リアクタービル 3 階が主たる点として評価をしております。
0:58:26	次に 234 ページをご覧ください。
0:58:31	こちら想定シナリオ、放出放射エネルギーについては、特に大きな差異はございません。ただページ下部、大気拡散評価については、評価条件に相違がございまして、当社は、
0:58:44	評価点及び着目方位を除き、
0:58:48	中央制御室の居住性評価における被ばく評価と同じ。
0:58:52	ものを使用しております。
0:58:55	また、大気拡散における評価点についても先ほど同様でございますが、各作業移動経路ごとに設定しております。
0:59:06	236 ページをご覧ください。
0:59:11	こちら屋外の被ばく経路及び評価方法について説明をした記載でございますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:18	当社は屋外の線源として、地下かつ十分な遮へいに囲まれているという理由から、格納槽内のベント設備を考慮してございません。
0:59:29	また、ページの下部の方から、次ページにわたって記載の通りですが、
0:59:35	ベント実施に必要な作業の相違もありまして、屋外線源のうち、フィルタベント設備に関わるものは地上に露出する出口配管汚染源としてございます。
0:59:49	238 ページをご覧ください。
0:59:52	こちら屋内脳被ばく経路について説明をした記載でございますが、
0:59:58	大沢グランドシャインも被ばく経路として考えて評価をしてございます。
1:00:04	239 ページ。
1:00:06	野地常務になりますが、
1:00:10	屋内の被ばく経路として、SGTフィルターについても、ベント実施時の操作場所付近にあることから、こちら漸減として評価してございます。
1:00:23	240 ページをご覧ください。
1:00:28	こちら記載の差異ではございませんが、被ばく評価結果をまとめたものでございます。
1:00:36	当社の評価結果として最も線量が大きくなる作業で、
1:00:40	約 13mSvとなっております。
1:00:43	こちらは、線量限度 100mSvを下回ることから、被ばくの観点からベント作業が可能であることを、
1:00:52	当社は確認してございます。
1:00:58	256 ページをご覧ください。
1:01:02	記載の適正化になるんですけれども、256 ページ、257 ページに、
1:01:09	図 1-6 としてタイムチャートを追加しております。
1:01:13	これは設置許可の段階では提示していなかったものでございますが、今回先行電力の記載状況を踏まえ、追加させていただいています。
1:01:23	技術的能力でご説明済みのタイムチャートを確保したものでございます。
1:01:28	被ばく評価における各作業の作業時間の設定の根拠としてお示しするものでございます。
1:01:36	審議しているものでございます。67 ページをご覧ください。
1:01:46	こちら図 3-5 として、
1:01:49	大気放出過程の概略図を追加させていただいております。
1:01:54	こちらは設置許可時に、提示していなかったものでございますが、
1:01:58	横並びということを踏まえ追記したものです。
1:02:03	前のページでお示している図 3-1 から図 3-4。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:08	の大気放出過程の図を一つの概略図としてまとめたものでございますので、特段新たに何かを示すものではございません。
1:02:21	別紙 6 の説明は以上になりますが、補足説明資料を用意していますので、こちらの説明をさせていただきます。
1:02:33	N-S2-他-063、
1:02:38	補足説明資料の比較表の方ご覧ください。
1:02:47	こちら被ばく評価に関する補足説明資料をまとめたものの目次の比較表でございすが、
1:02:55	補足説明資料の内容としては、被ばく評価で使用する条件である。
1:03:01	放出される放射性物質
1:03:04	ですとか、地表への沈着速度を使用する気象条件、また、評価、評価対象とする線源の選定評価モデル。
1:03:12	それからウェットウェルベント、ドライウェルベントの比較、格納槽の遮への熱状況について補足した補足説明資料でございます。
1:03:21	法政としての先行電力との相違については、
1:03:26	コンクリート密度に関しては、当会こういう案件。
1:03:29	ベント実施に関わる屋外作業の被ばくについては、当社の本体説明資料に記載。
1:03:36	評価条件の変更点については設置許可段階から当社特段変更点ございませんといった状況でございますので、
1:03:43	目次上若干の相違はありますが、基本的には先行電力と同様の内容の補足説明資料になってございます。
1:03:52	また、補足説明資料のうち、設置許可段階から、資料として新たに追加したものがございしますので、
1:04:00	この場で説明をさせていただきます。
1:04:03	具体的には、補足 2 の一部、
1:04:06	それから補足の 4。
1:04:08	10、
1:04:09	12、
1:04:10	13、14 になりますが、
1:04:13	こちら先行電力の説明状況を踏まえて追加させていただいたもので、特に設置許可段階から内容に変更があるものではございません。
1:04:23	その他については、記載ぶりの修正等ありますが、設置許可段階と同様の資料になってございます。
1:04:32	補足説明資料、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:36	N-S2-方 011、
1:04:40	I05、
1:04:43	-296 ページをご覧ください。
1:04:55	こちらの資料、
1:04:57	補足になりますが、補足は、格納容器内の除去効果について補足した整理資料でございます。
1:05:05	こちらの 298 ページ。
1:05:08	補足 2-3。
1:05:10	の 1 ポツ、沈着及びドライウェルスプレイによる、
1:05:14	除去効果について、こちら、今回説明を追加させていただいております。
1:05:22	MAAP上で、特定の除去効果 2 を除外した場合、DFIにどのような影響があるか感度解析をさせていただいたもので、
1:05:31	結果としては、7 日後時点において、重力沈降による除去効果に若干感度が確認されたといったものでございます。
1:05:40	次に、
1:05:41	312 ページ。
1:05:45	をご覧ください。
1:05:47	こちら補足の 4 でございますが、
1:05:50	無機ヨウ素の、
1:05:53	サブレーションプールでのスクラビング効果による除去効果について、補足した資料でございます。
1:06:01	スタンダードレビュープランという文献に基づいて当社DF5 を設定させていただいてますが、他の知見としてどういったものがあるかを示した上で、EFを使って問題ないかといったものを、
1:06:14	補足させていただいております。
1:06:18	次に、343 ページをご覧ください。
1:06:27	補足の 10 になりますが、
1:06:30	こちらはベント弁の操作において、評価する線源について、
1:06:35	どういったものがあるか補足する資料でございます。
1:06:39	ベント弁を操作するまでのアクセスルートをお示した上で、他に評価すべき線源がないことを説明をしております。
1:06:50	次に、350 ページご覧ください。
1:06:54	こちら補足 10 になりますが、
1:06:57	直接線スカイシャイン線グランドシャイン線、それぞれの被ばく評価における評価モデルを、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:03	お示したものでございます。
1:07:07	次に 355 ページをご覧ください。
1:07:11	こちら補足 13 でございますが、
1:07:14	ウェットウェルド/Wそれぞれのベントにおいて、被ばく評価の違いについてお示したものでございます。
1:07:23	細かい評価条件の違いは、
1:07:25	ございますが、作業員の被ばく量という観点からは大きな違いはないといったものを示したものでございます。
1:07:35	360 ページをご覧ください。
1:07:38	こちら補足 14 になりますが、
1:07:42	格納槽、
1:07:44	ベントフィルタの格納槽の熱状況の評価についてお示したものでございます。
1:07:50	γ線による温度上昇が最も厳しい箇所において、評価結果としては 68 度という評価でございまして、
1:07:58	γ線に対するコンクリート温度制限値である 177 度以下であることを確認した資料でございます。
1:08:08	別紙 6 の説明は以上になります。
1:08:15	比較表に戻っていただいて、
1:08:20	比較表の 275 ページをご覧ください。
1:08:26	こちら、先行電力、
1:08:29	では別紙 7 として資料記載しておりますが、当社設備の相違によってこちら自主対策設備に関連するものでございますので資料はつけてございません。
1:08:43	市全体の説明としては以上でございます。ご質問等ございましたら、よろしくお願ひします。以上です。
1:08:55	規制庁仲間ですご説明ありがとうございました。それ、前回、
1:09:01	やけ、都築っての、4 ポツ、比較庄野。
1:09:06	121 ページの 4 ポツ以降だと思ったんですけど 4 ポツ以降で前回やりましたっけ。
1:09:12	つまりちょっと確認だけ。
1:09:17	中国電力の植田です。前回の説明範囲の中で 4 ポツ、
1:09:23	カラー
1:09:24	までやっております、ページで言うと 131 ページ。
1:09:29	までが前回の説明範囲と考えておまして本日の説明は 132 ページから、
1:09:35	説明させていただいたものとなります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:38	以上です。
1:09:44	規制庁ナガタ了解すみませんちょっと勘違いしてましたんでちょっと少々お待ちください。
1:10:10	規制庁ナカムラずすみませんちょっと細かいところなんですけど 132 ページで、
1:10:15	(1)の
1:10:19	真ん中あたり、原子炉格納容器内雰囲気は系統待機時からって書いてあってで、
1:10:27	多分この系統待機時って、全厚の見たらちょっと書きぶりが違ってるので、差分の抽出Ⅱ、多分、
1:10:39	書きぶりの違いだけなんで、実践にはならないと思うんですけど、確認して、
1:10:46	適正化をお願いしたいとますがいかがでしょうか。
1:10:52	中国電力の植田です。ご指摘いただきました通りこちらの系統待機時につきましてはフィルタベント系の系統待機時を示しておりまして島根 2 号機では、
1:11:04	系統待機時ベント実施時弁当。
1:11:07	停止時といった形の文言に統一しておりますので、こちらについては表現の相違ということで識別をさせていただきたいと思います。以上です。
1:11:20	規制庁中根さん、了解しました。続いて 135 ページなんですけど、
1:11:27	これも許可のときに、ちょっと議論になったと思うんですけど、
1:11:35	135 ページの(2)の系統における水素濃度監視で、なお以下のところですね、なお以下で準備を実施するんですけどこっで、
1:11:44	第 1 弁データのうち水素濃度による測定の準備の中に雨水排水ドレーンの占めるっていうのは、
1:11:51	ここうにやられるという認識でよろしいですよ。
1:12:02	中国電力の植田です。ちょっと技術的能力の審査資料のほう確認させていただきますので少々お待ちください。
1:12:44	中国電力植田です。
1:12:46	少し調べるの時間をいただきますので、その他のご質問等ございましたらよろしくをお願いします。
1:12:54	規制庁の伊勢モリモトさんと稲井です。
1:12:58	確か 2 日会合で議論になったと思ったんで、阿蘇令和入れてもいいのかなと思います
1:13:04	えっとですね比較表の
1:13:07	154 ページ、ちょっと飛ぶんですけど、
1:13:13	154 ページで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:17	東海第 1 の差分の説明で、
1:13:20	島根 2 号機がスクラバ容器のマンホール溶接構造としてあるんですけど、
1:13:25	マンホールってもともと何の目的なんでしたっけ
1:13:29	開け閉めできるようにしてあるのが目的だと思ったんだけど、溶接にしちゃうかわからないんじゃないかと思って、どういう意味なんだ。
1:13:36	目的を説明してください。
1:13:42	中国電力の植田です。マンホールにつきましては、内部の構造物の点検等の際に使用することで設置しております、
1:13:52	必要、必要というか定期的に点検するために、開放する際につきましては、フランジではなくてマンホールの溶接部を、
1:14:02	とその辺の部材についてちょっと点検を考慮した形状にしておりますので、そちらの方を切り、切り離して中部の点検をして再度溶接し直すといった構造となっております。
1:14:14	以上です。
1:14:19	規制庁の伊勢です。今説明だとその溶接してあるところを点検のために切断して、そういう中を見るとそういうことですか。
1:14:31	中国電力植田です。ご認識の通りです。
1:14:39	規制庁の井関ですちょっとそこがわかるように、
1:14:43	記載をして欲しいんですけども、そのマンホールルーは、点検用なんですけどもそういった運用、今説明のあった運用をするということで溶接でもいいと。わかりました。
1:14:55	その説明を追加してください。
1:14:59	中国電力植田です。記載の方検討させていただきます。以上です。
1:15:09	規制庁の井関次のページで、
1:15:12	今回ラインとの差分でオリフィスの
1:15:15	ベントガスの減圧を考慮して、
1:15:18	上流側と下流があることがある最高使用圧力設定ってのは、
1:15:21	これは、
1:15:23	どこに対する比較なんですかね。
1:15:25	は、
1:15:26	まず決めたから、
1:15:30	ちょっと東海第 2 との差分の説明をして欲しいんですけど。
1:15:43	中国電力の上田です。
1:15:45	ページが 155 ページのところの、
1:15:49	学金も、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:52	いえ、心の
1:15:54	そういう理由だと認識しております、こちらについては、
1:15:59	もう東海第2と見た目上の相違はないんですけど、
1:16:04	うちが設定しております427kPaにつきましては、
1:16:10	1Pd2Pdの253kPaと異なる値を記載しているという意味合いでオリフィスの上流側と下流側、最高主圧力を、
1:16:21	設定を変えております、下流側に設定設置されております銀ゼオライト、
1:16:28	容器について、
1:16:30	想定する圧力を427kPaに設定しているといった意味合いでございます。以上です。
1:16:59	規制庁ドイタケシタの今の記載の、
1:17:03	402並びパスはオリフィスの二次二次側というかその下流側の圧力を書いて、
1:17:08	表現上はそれは書いてあって、
1:17:12	入戸の際は、城流、
1:17:18	料理の圧力の考え方が違うってことですか。
1:17:21	ちょっともう一度設定してもらおう。
1:17:27	中国電力の植田です。こちらの際の、427と□□につきましては、その上の段に記載しております①の増位に含まれていると考えております、
1:17:41	東海第2につきましては、一体型フィルター装置を採用しているため、オリフィスの上流下流に、
1:17:51	は、
1:17:53	申し訳ございませんフィルター装置内にあるものと考えております、嶋2号機の場合は、
1:18:00	分離型のフィルター装置を設置しておりますので、スクラバ容器と銀ゼオライト容器ということで銀ゼオライトフィルターを収納している容器がスクラバ容器とは別の
1:18:11	容器となっておりますその配管繋いでいる配管の途中に、
1:18:16	フランジを設けておりますオリフィスを設置しております。で、その影響で、オリフィスの前後で最高主圧力を、減圧を考慮した値に変えているといったものになります。以上です。
1:18:35	規制庁仲間さんの先ほどの東海第2の圧力、マスキングなんで、また削除させていただきます。
1:18:45	中国電力植田です。失礼いたしました。
1:18:50	慶長日赤ももとのフィルターのシステムの違いがあつてついうこと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:57	でしょうか。今の説明だと、
1:19:02	中国電力の植田です。ご認識の通りフィルターシステムとして
1:19:08	分離型を採用していることによる違いと、オリフィスの前後で圧力を変えているという中国電力の設計条件の違いによるものと考えております。
1:19:19	以上です。
1:19:22	規制庁の磯部説明はわかりましたがここもちょっとわかるように、
1:19:28	見た目全く書きぶりは、数字は違うけど、
1:19:33	一緒なので、
1:19:35	少し補足備考に補足を、
1:19:38	検討してください。
1:19:43	中国電力の植田です。了解いたしました①の相違ということで上に書かせていただいているものと、今、記載させていただいている上流側と下流側の圧力の話。
1:19:54	もう少し合体させる形で記載を拡充させていこうと思います。以上です。
1:20:03	市長の石飛ですよろしくお願ひします。少々お待ちください。
1:20:13	規制庁規制庁仲村ですすみません等、四角の 136 ページで、
1:20:20	確認だけなんですけど、格納容器酸素濃度括弧Sへの測定誤差ってプラマイ 0.5 ボールって書いてあるんですけど、これって、
1:20:32	すみません格納容器 3 層とB系のイメージがあったので、ちょっと測定誤差としては大きいなと思って、確認なんですけど。
1:20:42	これ測定誤差が 0. プラマイ 0.5 ボールで、
1:20:46	いいんですよという確認をさせてください。
1:20:53	中国電力の福間でございます。
1:20:55	はい。ご認識の通り、格納容器酸素濃度、
1:20:59	SAと格納容器酸素濃度のB系、異なるものになっておりまして、こちらのカッコSAの計器については 0.55%で間違いございません。
1:21:10	以上です。
1:21:12	規制庁中間です。わかりました。うふものがもともと全く違うってことです。それともレンジが違うから。
1:21:23	誤差が違うとかっていうそ、ちょっとそこをご説明いただけますか。
1:21:32	中国電力古賀です少々お待ちください。
1:22:17	中国電力の福間です。お待たせいたしました。衛藤格納容器の酸素濃度のAとB系統Saなんですけども、
1:22:24	レンジも、
1:22:26	若干異なる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:28	ものとなっておりますが酸素濃度につきましては、B系のワイドレンジに相当するような範囲を、
1:22:35	有する、
1:22:38	契機になってます格納容器さんそのSAの方が、
1:22:41	のレンジがですね 25%になっておるんですけども、B系のワイドレンジ、
1:22:47	025%と同じような計測範囲になっております。
1:22:52	地域防災についてはここに記載しております 0.5%となりまして、ベント基準についてはですね、衛藤、ベントの実施基準判断基準についてはですね、この0.5%を考慮した上で設定しておりますので、
1:23:06	継続性には問題ないものと考えております。以上です。
1:23:12	規制庁ナカムラさん、了解しました我々に相当するものということで、計器誤差0.5%考慮したところで理解しました。
1:23:21	続いて、これも確認だけ 137 ページ次のページで、
1:23:27	下請け化に対して水封されるっていうのが、一番下の方にあるんですけど、これってどういうことかってご説明いただけますか。
1:23:39	中国電力の上田です。枝管につきましては、ベントガス中、
1:23:46	蒸気を含むベントガスのが主ラインに流れている状況を模擬しておりますので、順次ドレンというのが発生しておりますして下向きの枝管については、
1:23:57	どんどンドレンがそこに入っていき構造となっておりますので、水封されることで、
1:24:03	窒素ガスとか水素ガス等の侵入がないような、ということで評価を対象外としております。以上です。
1:24:16	規制庁仲間さん、すいません理解しました。ちょっと、意図的に何かやってるのかなと思ったので、ちょっとドレンで水封されってのはわかったのをそれを書いていただくってのは可能ですか。
1:24:35	中国電力の植田です。水封されることでの前のあたりに、追記することで検討したいと思います。以上です。
1:24:44	規制庁仲間ですよろしく申し上げます。
1:24:47	少々お待ちください。
1:24:54	規制庁の吉崎です。
1:24:56	比較表の 159 ページ。
1:25:02	また可搬型の普通の供給装置の容量で、
1:25:06	①②があって、下にそのスペックがあって、
1:25:11	結局①と②でどっちが大きい。
1:25:16	大きい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:18	供給量なるんでしょう。
1:25:43	規制庁の施設の質問はわかりましたが、この 010 で、どちらが大きいかというのと、この下の基本との関係を説明してくださいということなんで、
1:25:56	中国電力の上田です。①と②につきましては①の方で、
1:26:02	100 立米パーアワーというのを設定して評価をしております、丸 2 の方で、ページ数といたしまして 162 ページのところの上の辺になりますけど、
1:26:14	必要実装供給量ということで 30.6 というのを計算しておりますので、①で設定した 100 立米パーアワーに包絡されるので、十分な容量があるという設定をしておりますので、
1:26:27	①の方が容量の大きい方と考えております。以上です。
1:26:54	市長の井関さん、それが何か、①の方が大きいからそれに、
1:26:59	2 が包絡されるってのは、どっか書いてあるんですかね。
1:27:03	ここの表の下でも書いて欲しいんですけど、
1:27:06	少し、
1:27:07	どこに書いてあるのかわかりますか。
1:27:13	中国電力の植田です。ちょっと説明の方が少し間違っていたかもしれませんが 0102 とともに、最終的に 100 立米パーアワーで設定してますということで、どちらからも 100 立米パーアワー。
1:27:27	という設定になった。
1:27:29	窒素ガス供給量として設定しておりますという内容になっておりまして、一応 162 ページの方につきましても必要数、窒素量については 30.66、
1:27:41	なんですけど、これに余裕を見込んで 100 と設定しておりますということで、どちらかに包絡されるというよりは、どちらも 100、
1:27:50	必要量を読み込んだ必要量ということで設定させていただいています。以上です。
1:28:21	市長にご出席、説明はわかりました。ただ説明の一番上にも、12 を考慮して設定ってあって、
1:28:29	これ見ると何か、
1:28:31	予容量が書いてないんで、
1:28:34	下に、
1:28:35	出るんですよ。
1:28:38	両方とも 100 立米パーアワーでやってるからこれでいいんですよっていうことが、もしそれで、それを伝えたい資料だったら、もう少し明確にして欲しいなど。
1:28:49	記載を検討いただけますか。
1:28:55	中国電力の植田です。記載の方検討させていただきます。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:27	規制庁仲村です。すいません
1:29:30	それは0一井の方で、
1:29:34	必要な窒素供給量っていうのは
1:29:39	書いてないとか(1)で、100でやりますっていうふうにしかなかったら書いてなくて0(2)の方は、必要な窒素供給量っていうのがちゃんと書いてるんで、
1:29:49	包絡されてるといふか、ように見えるんですけど。
1:29:52	おそらく①の方で必要な窒素供給量っていうのが、
1:29:57	説明いただいた上で、
1:30:01	100立米。
1:30:03	アワーで地質を介し長期するんで、設計上大丈夫ですっていうような説明になった。
1:30:10	てればいいんだと思うんですけど、それはいかがでしょうか。
1:30:25	中国電力の内藤です。
1:30:28	(1)の方につきましては、100立米パーアワーを用いまして、
1:30:35	窒素ガス供給を持ちまして、それで問題ないこと。
1:30:41	を確認しているというものになります。
1:30:44	ですので
1:30:45	幾ら以上であればその容量で問題ないかということころは、
1:30:52	確認してはおりません。
1:30:53	ただその日、
1:30:55	当社として設定した、②、
1:30:58	の方で設定したということになるかもしれませんがその設定した。
1:31:02	100立米パーアワーで問題ないことを丸市でも確認できておりますので、それをもって、
1:31:07	①②を考慮して設定しているということになります。以上です。
1:31:19	規制庁ナカムラわかりました0一井は、
1:31:24	①あった場合はぜひその100でやった上で問題ないっていうのを確認したことをもって、
1:31:30	100にしたっていうことで理解でよろしいですか。
1:31:37	中国電力の内藤です。その理解で合っております。はい。
1:31:42	ユリペーパーで、
1:31:45	解析上問題ないと。
1:31:47	いうことで確認しております。以上です。
1:32:07	規制庁ナカムラすみません先ほどのエザキっていうと、やっぱり②っていうのは、3、必要な窒素量で100で包絡されるっていうようなイメージ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:18	包絡されるんで 100 に設定したってというようなイメージだと思うんですけど、
1:32:23	今、両方を考慮して、両方とも 100 で設定したってなった。
1:32:28	ではそれはちょっと、どういうことかってもう一度ご説明いただけますか。
1:32:54	中国電力植田です。少々お待ちください。
1:33:14	中国電力の内藤です。
1:33:17	同じような話の繰り返しになってしまうかもしれませんが、
1:33:22	②の方で、
1:33:24	必要な実流量というのを確認して、それを上回るものとして 100 立米%を設定しているという、というのがまず一つ。
1:33:33	起こるそれを考慮しているというところ、あともう一つは、
1:33:38	①の内容も満足させないといけないというところなので、①については、100 立米パーアワーで問題ないことを確認していると。
1:33:47	いうところになります。
1:33:49	それを踏まえて設定したというところなので、ちょっとそこを、
1:33:54	あたりの、
1:33:55	規制側、
1:33:57	もう少しわかるように、
1:34:00	記載はちょっと検討したいと思います。以上です。
1:34:06	規制庁中田了解しますちょっと記載ご検討いただいてわかりやすくなればなと思いますのでよろしく願います。
1:34:16	中国電力の内藤です。承知いたしました。
1:34:29	中国電力の植田です。先ほどご質問いただきました、水素濃度、
1:34:35	フィルターベントの水素濃度の準備のタイミングの件でご回答が準備できましたので今ご回答させていただいてもよろしいでしょうか。
1:34:45	規制庁仲村ですよろしく願います。
1:34:50	中国電力上田です。その際ご確認いただきました雨水排水ラインの弁の閉める。
1:34:57	手順の話なのですが、一応弁を閉止する手順につきましては、水素濃度の準備の手順ではなくて、格納容器フィルタベント系のベント側の手順に、
1:35:09	の一部として準備、閉止操作をすることで手順を作っております。その閉止操作につきましては、緊急時対策要員が操作するというので、
1:35:20	手順の方作らせていただいております水素濃度系の準備とは別の手順で、
1:35:27	準備をすることとしております水素濃度系につきましては、実際には弁当末期の方、ベント停止時に使用する設備なので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:38	ベント前から準備する必要はないんですけど念のため準備をしておくといったものになります。以上です。
1:36:00	規制庁仲村です。わかりました私もちょっと思い出してきました。
1:36:05	この雨水排水ラインの閉める操作って
1:36:10	システムの準備のところとか、すみませんちょっとどこかに書いてありました。
1:36:33	中国電力の相田です少々お待ちください。
1:37:10	中国電力の植田です。比較表の 68 ページの方をお願いします。
1:37:17	こちらで排気管排水設備の設備のご説明をさせていただいております、その説明文章の下の方、なお書き以降ですが、
1:37:28	雨水排水ラインの止めペーン、
1:37:30	についてはベント実施前に人力で確実に閉操作できる運用とし、ベントガスが雨水排水ラインを通じて排水排出されることを防止するというので、
1:37:41	雨水排水ラインの止め弁の閉めるタイミングについてはこちらに記載しております。以上です。
1:38:14	規制庁仲村です東海ところはわかりました。その上で、すみません。ちょっと、
1:38:21	別紙 1 の方のそういうイメージでシステムの差 130-133 の
1:38:29	(イ)のシステムの各運転状態において設計上の考慮っていうところで、
1:38:36	プラント通常運転中から、ベント実施前、ベント実施ちょっとベント収束というところで書いてあるんですけど、
1:38:44	ここ 2、ベント実施前ですかね。
1:38:50	年度実施前のところで、雨水排水ドレンの
1:38:54	閉操作っていうのは、
1:38:56	どっかにあるといいなと思ったんですけど、ところは設計上の考慮なので運用、
1:39:02	については特に書かれてないという理解でよろしいですか。
1:39:11	中国電力の上田です。別紙 1 につきましては、関戸運用、両方の面から可燃性ガスの爆発防止を、
1:39:21	することをご説明しておりますので運用の部分を書いてないというものではないんですけど、先ほどの雨水排水ラインにつきましては水素が数の蓄積等を考慮した、
1:39:34	対策の設備ではございませんで雨水が流入した際に、凍結防止等、
1:39:40	を図るための設備になっておりますので別紙 1 の可燃性ガスの爆発防止対策に用いる設備ではないことから、別紙 1 の方には記載がある。
1:39:51	をしないこととしております。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:05	規制庁の赤松了解しました。ちょっとここは水素爆発防止対策の観点で書かれているということで、雨水排水はどちらといえば
1:40:13	凍結とかの防止等後、空いたことによるの、
1:40:19	出口の
1:40:20	被ばくの線量が上がるというのを防止するためのものと思っているのでは
1:40:25	はい。ここで書く必要ないことは理解しましてありがとうございます。
1:40:43	規制庁仲村です。すいません。ちょっと続いて、100、100140 ページの、
1:40:50	表 1 の一覧の⑩なんですけど、
1:40:54	ここ、
1:40:57	不燃限界の長谷の判定値が、
1:41:00	バーになってるってのは、ちょっとすいません。理由をご説明いただいてもよろしいですかね。
1:41:13	中国電力の上田です。不燃限界ながさあ、出野評価対象となる配管につきましては水平配管。
1:41:22	が対象となっております、組み合わせのは、枝管については、不燃限界長さで評価するもの、できるものとしてガイドラインの方に規定がないため、
1:41:34	不燃限界長さの判定値については存在していないということでバーを入力させていただいております。以上です。
1:41:59	規制庁ナカムラさんわかりましたこの上向き分岐の組み合わせ高っていうのは、そもそも不燃限界長さの判定値はなくて、
1:42:08	この可能性については、その長さの判定値より考慮するっていう、
1:42:17	理解でよろしいですか。
1:42:22	中国電力の植田です。ご認識の通りで、ガイドラインで評価対象として蓄積評価ができるものとできないものということで、部、
1:42:33	区分けがありまして、上向き分岐かどうかはあれなんですけど組み合わせ高につきましては、もう詳細評価ということで蓄積、
1:42:43	した場合の強度評価に、
1:42:46	評価内容が移行してしまいますので、後、
1:42:50	今後ガスの蓄積の可能性を評価するというよりは蓄積した後の評価になってしまうということで、今回は、可燃性ガスの蓄積があるものとして評価して、
1:43:01	ありということで、バイパスライン等の設置を検討したものとなります。以上です。
1:43:11	静聴ナカムラですわかりました。それ、ちょっともう 1 個、
1:43:18	ウェブの一井の方もばーんってるんすけどこれも同様にだと思っすけど、2 分の 1 評価対象外ってなってるのは下の契約案なんで評価対象外で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:29	この中のバーってというのは、これによらず、判定するんで、評価対象外ではないので坂やってるっていう理解でよろしいですか。
1:43:41	中国電力の植田です。ご認識の通り、今後ガスの蓄積評価について、丸の中、組み合わせ高については評価対象外ではなくて、
1:43:51	どちらかという蓄積する側になりますので評価対象外という記載ではなくて、判定基準等がないということでバーを記載させていただいております。以上です。
1:44:06	規制庁永沢わかりました①とか⑩の丸一井の分減額判定値のバー等、
1:44:15	⑩のバーって意味メールちょっと違う、違うってことですかね。
1:44:31	中国電力の上田です。
1:44:33	不燃限界長さの判定値が規定されてるものっていうものが水平配管。
1:44:39	になりますので、下向きの枝管、上向きの枝管どちらとも
1:44:45	年限界長さの判定値というものは存在していないということになります。
1:44:50	なのでこちらのバーにつきましては、同じ意味合いかなと考えております。以上です。
1:45:01	わかりました規制庁中出わかりました判定値がないということで、同じ意味合いの場になってると理解しましてありがとうございます。
1:45:21	規制庁の吉武です。比較の 187 ページ。
1:45:25	ちょっと飛ぶんですけど、
1:45:29	6 月 17 ページどう。
1:45:32	そういうのと一番下の相違ですね。
1:45:35	島根 2 号機はベントガスの凝縮に寄与する構造物とCB細管考慮して評価しても、
1:45:42	ここ、これの、
1:45:44	具体的な
1:45:46	理由を説明してもらおう。
1:45:52	中国電力の植田です。こちらの水位評価につきましてはベント実施時の凝縮、
1:46:00	を考慮したものとなっております、凝縮についてはフィルター装置、
1:46:06	島根で主スクラバ容器だけではなくて入口配管についても、ベントガスが流れてる最中に凝縮することが考えられますので、
1:46:16	そちらも含めた凝縮量というのを計算していますというそういう理由になっております、188 ページの方をお願いします。
1:46:28	パッキングの範囲内にはなってしまうんですけど、こちらで入口配管の重量だったり、
1:46:36	ていうのを設定させていただいております、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:39	そちらを評価の中凝縮量の評価として入れ込んだ形で、水の、
1:46:45	一番高い水位というのを出しているということになりますといった相違となります。以上です。
1:47:01	規制庁に確認しなかったらこれ保守的な評価になるのかっていうところを、
1:47:07	説明してもらえますかね。
1:47:12	中国電力の上田です。187 ページの評価につきましては上限水位に対する評価になりますので、凝縮量を多く見積もった方が保守的と考えております。
1:47:25	なので入口配管を考慮した場合の方が、凝縮量はもちろん増えますので、
1:47:31	いえ、
1:47:32	保守的な評価となっていると考えております。以上です。
1:47:38	規制庁の吉崎です。説明はわかりましたので少し移行の方また、今の説明、
1:47:45	文を
1:47:46	追記していただきたいと思います。
1:47:50	よろしいでしょうか。
1:47:53	中国電力植田です。
1:47:55	ご指摘の内容は理解しました少しマスキングの範囲を、
1:48:00	触れてしまいますので、メーカー等含めて、書ける内容といったところは調整させていただきたいと思います。以上です。
1:48:17	規制庁の施設マスキングに関係なく、上限水位、
1:48:23	保守的に評価するためとか、何か関係ないと思うんですけど
1:48:27	はい。
1:48:30	影響しないと思うんですけども、記載の検討をよろしくお願いいたします。
1:48:37	中国電力植田です。了解いたしました。
1:48:41	記載の保険とさせていただきます。以上です。
1:48:46	規制庁仲村です。すいません
1:48:50	比較表の 100、
1:48:54	91 ページの
1:48:57	スキームだな。
1:49:00	180 ページの管理値推定について、2.1 ポツ、1.2 とか 1.2 ポツで、
1:49:08	ずーっと説明があって、
1:49:12	191 ページで、
1:49:14	結果を出してるんですけど、
1:49:17	整形の管理値って、何か違う松木なんでちょっと違うとしか言えないんですけど、違う気がするんですけど。
1:49:27	修正いただけますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:38	中国電力植田です。大変失礼いたしました。
1:49:41	下の図に書いてある推定の方が正しい数字と考えておりますので、記載の方見直させていただければと思います。以上です。
1:49:59	規制庁仲村ですよろしくお願いします。
1:50:24	規制庁仲村ですすみません、戻って企画書の 144 ページ。
1:50:29	なんですけど、
1:50:31	この系統運転状態の概略系統図、
1:50:37	何で 11-6 ですね。
1:50:39	それこれちょっと系統運転状態。
1:50:45	って書いてあるんですけど、
1:50:47	系統運転状態だったら、
1:50:51	大連か第 2 弁ってかいじゃないかなと思うんですけど、これ今ちょっと見る限りヘリになってて、ちょっとこれがちょっと、どういうことかっていうご説明いただいてもよろしいですか。
1:51:12	中国電力の上田です。
1:51:14	大変申し訳ございません。ご指摘いただいた第 2 弁の方ですけど手順上で開けております。開けないとベントができませんので、開のマークに変更させていただければと思います。
1:51:26	以上です。
1:51:30	規制庁中間です。わかりました。よろしくお願いします。ちょっとあわせて
1:51:35	確認をしていただきたいのが、その概略系統図、今、パートを見てたんですけど、
1:51:42	基本的にはそのウェットウェル側の第 1 弁が、
1:51:47	多くの図で開になってて、大変じゃないかなって思うのもあったのでちょっともう一度ご確認いただいて、図の修正が必要であればお願いできればと思うんですけどよろしくお願いします。
1:52:02	中国電力植田です。大変申し訳ございませんちょっと弁の開度については、第 1 弁第 2 弁を含めて、全体的に少し見直させてもらって必要に応じて修正させていただければと思います。以上です。
1:52:20	規制庁仲村です。すみませんちょっと木曾の関連で、補足のほうにいっちゃうんですけど、補足の 85 ページ、84 と 85 ページなんですけど
1:52:31	ずーっと図 3 で、
1:52:36	圧力降下操作時の系統構成等、
1:52:39	宇和通行化中に学校が操作中に、信号が発生した場合の系統構成で、
1:52:45	ちょっと多分これ、マルとバツが対応してる形になってると思うんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:51	おそらく第1弁のバイパスレーン、13の方ですね、大D/Wの
1:52:58	第1バイパス弁の方がバツじゃないかと思うんですけど、これもちよつと確認してもらってもよろしいですか。
1:53:14	中国電力植田です。大変申し訳ございませんこちらについても×の記載値が間違っておりますので、金、窒素ガスパーズ中に空いた弁ということで、
1:53:26	バイパス弁側にバツの記載を移動させたいと思いますので訂正させていただきます。以上です。
1:53:35	規制庁永見ですよろしく申し上げます。
1:54:17	規制庁の吉武です。比較表の240ページ、
1:54:25	これあの際、先ほど説明あった評価結果被曝の評価結果で、
1:54:30	その齊田伊井の被ばくが13mSvと。
1:54:34	であるんですけども、
1:54:36	これをする人ってのは先ほど何かフローチャートをつけていただいて、作業員のどこの方かっていうのは説明できます。
1:54:52	中国電力の竹内です。最大線量となる13mmというのは、第2弁の操作、
1:55:00	に該当するものでございます。
1:55:03	第2弁の操作については、
1:55:08	現場の運転員BC、図の1-6で言いますとこちらに該当するものでございます。以上です。
1:55:20	規制庁の井関、運転員BCの書いてるページって、何ページですか。
1:55:26	中国電力の竹内で申し訳ございません。比較表の256ページをご覧ください。こちらの図の1-6、タイムチャートになります。
1:55:39	こちらでご確認のほどよろしく申し上げます。以上です。
1:55:50	規制庁の吉崎です。上と下これWetぐらいの差で、
1:55:54	同じように、運転員BCが、
1:55:57	MACCS13になるんですけど。
1:56:07	中国電力の竹内です。
1:56:10	タイムチャートの上下はWetとドライのそれぞれのタイムチャートでございます、それぞれにおいて13、
1:56:20	というのが、
1:56:24	ウェットウェルベント、
1:56:26	それから、ドライウェルベント、同じく第2弁の操作の評価になります。以上です。
1:56:34	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:08	評価結果の、中国電力の竹内でございます。評価結果としましては、比較表の 250 ページ、251 ページに表でまとめてございます。
1:57:19	こちらの別途メール 250 ページがウェットウェルベントそれから 251 ページが、ドライウェルベントの被ばく評価結果でございます。
1:57:29	補足としては以上です。
1:57:52	規制庁の吉武です。Wetも大綱MACCS13 で、
1:57:56	同じ。
1:57:58	同じで、運転員I. 分けず
1:58:05	BC2 人とも、13mmアビルってことですかね。
1:58:14	中国電力の竹内でございます。運転員、現場操作員のBC2 人とも、13mmアビルという、ご認識の通りでございます。以上です。
1:58:29	規制庁の伊勢です再最後のタイムチャート等、
1:58:33	と。
1:58:34	リンクを貼ってもらうことは可能でしょうか、その最大アビル人はこの人ですっていうのがわかるようにしていただきたいんですけども、可能でしょうか。
1:58:52	中国電力の竹内でございます。タイムチャートのほうの記載をちょっと工夫させていただいて、被爆評価結果等リンクをさせた上で、最大アビル、
1:59:05	最大線量アビルものがこちらですといったものをお示しするような形で、資料の方、
1:59:15	拡充させたいと思います。
1:59:17	以上です。
1:59:48	規制庁の井関です。確認ですけど
1:59:51	2 年悪い時の作業というよりも行くまでのその経路であげる。そういう理解でいいのかと。
2:00:02	中国電力の竹内です行くまでの経路でもありますし、第 2 弁の操作でも被ばくすることもあります。タイムチャートのほう内訳のほうを記載させていただきますが、
2:00:16	移動時間としては、往復で 20 分作業時間としては 60 分の想定でございますので、もちろん作業時間の方が長いところから、
2:00:27	こちらが支配的になるのかなとは考えております。以上です。
2:00:34	成長して、やっぱりその 2 弁を開けるためにそこにとどまるかそこで、
2:00:42	アビルということで、私初めて思ったんですけど、違うのかなと。
2:00:47	ですからその作業時間で、アビルということで、理解しました。
2:00:54	そうします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:50	規制庁仲間ですすみませんちょっと細かいところなんですけど、私イメージとして第1弁の方が、
2:01:56	角度B近いので大きいかなと思ってたんですけど、
2:02:02	250ページと251ページの表を見ると、
2:02:07	イベントの一面で大きく違うのが地表面に沈着社報生物ガンマ線による外部被ばくになってるんですけどこれって、
2:02:17	何かほぼ桁が違ってくるくらい違ってらんですけど、法政の理由ってご説明いただけますか。
2:02:29	中国電力の竹内です。違和感感じられるの誤認しきいのご理解いたします。第一面のソーサーで実際には弁通いたしますので、第1弁の操作の、
2:02:42	方が、被ばく線量の方高くなる。
2:02:45	ようなイメージっていうのはもちろん我々持っております。ただ評価上におきまして第2弁の操作1の方が、なかなか、
2:02:55	被ばく評価において考慮できるような遮へいというのがちょっと制限がございます、その結果グランドシャインに対する遮へい、
2:03:06	グランドシャインからの寄与がどうしても評価上においては大きくなってしまふことから、こういった形で二名の方が、被ばく評価結果が大きいといった、
2:03:16	あくまで評価上の形になってございます。
2:03:20	以上です。
2:03:27	規制庁仲村です。わかりました
2:03:30	第2弁の操作場所の方が著者遮へいが少ないという考慮できる者エラーの評価上考慮できる者が、
2:03:39	第1弁のそばに数少ないので、浦野社員が大きくなるということで、1回しますし、
2:03:46	A、
2:03:52	あ、最後、評価条件両者のかなり保守的に評価されてると思っというてよろしいですね要は実機というか、実際の作業をしたときに、
2:04:02	第1弁の方が大きくなったりとかってことはないと思って欲しい。
2:04:09	中国の中国電力の竹内です。ご認識の通りでよろしいかと思っております。先ほどの例を挙げてみますと第2弁の操作位置の外壁、
2:04:20	本来はあるんですけどもうこちら、遮へい要求としてなかなか評価上考慮できないといった状況もありましたので、外壁なしっていうところで、グランドシャインの
2:04:33	寄与がかなり強くなっております。こういったこともいろいろありまして評価上については、かなりあちこちで保守的に評価してございますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:44	大丈夫かと考えております。以上です。
2:04:58	規制庁仲間です。わかりましたすみません、やっぱりちょっとイメージとして第1弁の方が大きいなっていうのが、
2:05:05	思うので、ちょっとちょっとどこに書いていいかってのがわかんないんですけど補足で、
2:05:14	結構ですので、第2弁と第1弁の、
2:05:17	要は評価の違いっていうのが、どっかに記載があるとありがたいなと思うんですけど、もうすでにあるんでしたら、大丈夫なんですけど、ちょっと記載ご検討いただければと思いますがよろしいでしょうか。
2:05:30	中国電力の武内です。補足の13にウェットウェルD/Wの評価の違い等、申し訳ございません。ちょっと記載場所を検討した上で今の第2弁の話。
2:05:43	について追記させていただきたいと思います。以上です。
2:05:48	規制庁仲村ですよろしく申し上げます。
2:06:31	規制庁ナカムラですすみませんちょっとまだ、こちらから何点か指摘はあるんですけど、ちょっと時間も時間なので、また次回のコメント回答2、指摘の方はさせていただければと思いますので、
2:06:46	本日のここまでのコメント等内容確認をさせていただければと思いますがよろしいでしょうか。
2:07:01	中国電力の内藤です。承知いたしました。
2:07:11	中国電力の植田です。一つだけ後程ご回答とさせていただいておりますスクラバ容器内のモデル化の話を、
2:07:22	ご回答させていただければと思うんですけどよろしいですか。
2:07:25	規制庁仲村ですよろしく申し上げます。
2:07:31	中国電力植田です。それでは補足説明資料の方の195ページ。
2:07:37	お願いします。
2:07:43	こちらの図1にモデル化の範囲ということで、
2:07:47	示させていただいております、ご指摘いただいたのは
2:07:53	スクラバ容器の下段についておりますベンチュリノズルのところの右から二つ目のところの、
2:07:58	部分。
2:07:59	に対するものと思っております、基本的にこの引っされてる部分については、隣にある、ベンチュリノズルに発生するクリアリング荷重といった、
2:08:11	ものが発生しないので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:14	クリアリングは、荷重を先ほど算出方法を説明した通り側道に起因する荷重になりますので、紛失がない石フランジについては発生しないものと考えておりました、
2:08:27	隣にあるベンチノズルのフランジ部に評価は包絡されてしまうものと考えております。で、モデル化の範囲がビームモデルとシェルモデルで違うといったところにつきましては、
2:08:40	シェルモデルの間、簡略化という意味合いで評価対象部位となる部分を、
2:08:46	必要最低限でモデル化したといったところで、モデルの範囲が少し異なってるといった、
2:08:53	ところで考えております。以上です。
2:09:01	規制庁仲村です。回答は理解しました。それならちょっとすみません貧モデル等シェルモデルの違い。
2:09:12	要はシェルモデルは加入化してるんで、記載がしてないっていうのを、
2:09:19	先ほどご説明を、ちょっとどこかに書いといて欲しいなと思うんですけどいかがでしょうか。
2:09:29	中国電力上田です。承知いたしました記載のほうをどこかに入れるように検討いたします。以上です。
2:09:39	規制庁仲間ですよろしく申し上げます。それでは、ちょっと指摘の確認をさせていただきたいとますよろしく申し上げます。
2:09:51	中国電力植田です。今から画面の補給させていただきますので少々お待ちください。
2:10:38	中国電力植田です。ただいま画面の補給させていただいております。ご覧いただけますでしょうか。
2:10:45	規制庁仲間です。大丈夫です。
2:10:51	中国電力植田です。
2:10:53	本日いただきましたコメントの方、確認させていただきます。一つ目。
2:10:59	補足の 162 ページ。
2:11:02	ベンチュリノズル部について、下限水位等を図示すること。
2:11:06	二つ目、補足 172 ページ、173 ページ。
2:11:12	機関の解析に使用しているシェルモデルとビームモデルのモデル化範囲の違いについて説明すること。
2:11:20	三つ目、補足の 167 ページ。
2:11:24	委譲力に係る記載を検討すること。
2:11:27	四つ目、比較表 132 ページ、系統待機時の記載について検討すること。
2:11:35	五つ目。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:37	比較表 154 ページ。
2:11:39	スクラバ容器のマンホールの目的及び運用について説明すること。
2:11:45	六つ目、比較表 155 ページ、流量制限オリフィス以降の最高使用圧力の設定について補足して説明すること。
2:11:55	七つ目、比較表 137 ページ、水封されることの記載について検討すること。
2:12:03	八つ目、比較表 159 ページ、可搬式窒素供給装置の容量の設定の考え方について補足して説明すること。
2:12:13	九つ目、比較表 187 ページ、スクラビング水の水位評価において、ベントガスの凝縮に寄与する構造物として、入口配管を考慮している理由を説明すること。
2:12:27	10 個目、比較表、191 ページ、管理値、括弧推定について説明すること。
2:12:35	11 番目、比較表、144 ページ、図 1-6 の弁の開閉状態の標準の記載について検討すること。
2:12:45	続きまして補足 84 ページ、13 の系統構成の記載について検討すること。
2:12:53	続きまして比較表 256 ページ、ベント実施時の作業員の被ばく線量と現場作業のタイムチャートの関係を整理。
2:13:02	説明すること。
2:13:04	続きまして、比較表 250 ページ、第 2 弁開操作時と、第 1 弁開操作時の被ばく評価条件の違いを説明すること。
2:13:14	以上となります。過不足等ございましたらよろしくお願いします。
2:13:20	一番は、
2:13:23	これ推移を図示じゃなくて、何だ。
2:13:28	測定の 0 と、円柱いいノズルの高さ、
2:13:33	下限水位との関係をわかるようにっていうことだったんで、
2:13:41	違うかなと思って。
2:13:47	こちらが確認したいことは、
2:13:50	まず 0 三野あたりがどこで、電柱等の高さ、
2:13:56	下限水位との関係についてわかるようにしてくれということだったんですけども、趣旨は合ってるでしょうか。
2:14:07	中国電力植田です。コメントの記載は少し、
2:14:11	違ったかもしれませんが趣旨の方は理解しておりますので、必要な、
2:14:16	水等の条件について、説明させていただくことで準備したいと思います。以上です。
2:14:40	規制庁仲間です。すいませんと 4 番の系統待機所について検討。
2:14:45	することなんですけど検討というよりは差分抽出をし、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:51	やっくださいねってことなので別に記載を検討するってということではないので、ちょっとコメント残し方だけなんですけど、
2:15:03	こちらの意図としてはそういう趣旨なのでよろしくお願いしますそれと
2:15:08	中の管理値推定説明することってのも、これも説明を求めてるわけじゃなくて
2:15:17	訂正し、間違っ訂正してくださいねっていただけですので、そこはよろしくお願いします。まず、
2:15:25	は以上です。
2:15:30	中国電力上田です。
2:15:32	ご指摘いただいた趣旨は理解しておりますので 4、No.4 につきましては系統待機時の記載について、先行審査プラントとの相違を説明することといった、
2:15:43	形で、コメン等として残させていただこうと思います。
2:15:49	No.10 については今、表示させていただいてる内容で、
2:15:54	起こさせていただきたいと考えております。以上です。
2:16:01	規制庁中間ですよろしくお願いします。
2:16:07	規制庁仲村さんと堀尾さん。残されたコメントについて何かあればお願いします。
2:16:24	ACCESS堀野です。3 番のコメント私だと思っんですけど、
2:16:30	一応記載に関することなんでグレー発注ってうか、
2:16:34	そういう扱いで結構だと思っすんでよろしくお願いします。
2:16:42	規制庁中です。了解しましたその他、Webの方、何かあればお願いします。
2:16:52	特に、特にありません。
2:16:55	特にありません。
2:16:58	特にありません。
2:17:02	規制庁の阿部さんありがとうございますそれでは、凸でこちらからは以上となりますので、中国電力の方から何かあればお願いします。
2:17:18	中国電力の内村です。このコメントリストの中でですね 13 番で、
2:17:24	リンク付けをとすることをコメントいただきましたけれども、本部の方で 13mm というのがあって、そのものが第 2 弁。
2:17:35	オオノ作業ですよと。
2:17:37	そ、その 13 ミリが第二名ですよ。そういうところを明示することだけをちょっと考え、
2:17:44	たらいいか、もしくはそのタイムチャートの方にですね、すべての作業のウェットウェルD/Wの被曝線量を書こうかと。
2:17:54	ちょっとその辺、どちらにしようかと思っっております。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:08	規制庁吉井です。132の人が、どこにどういう作業してるかどうかわかればいいので、
2:18:17	はい。
2:18:18	そういう趣旨で、
2:18:19	お見せしましたので、わかりました中国電力の内村です。じゃ、前者の方で対応を検討したいと思います。ありがとうございます。
2:18:28	はい。よろしくお願いします。
2:18:33	中国電力のナイトウですその他は特にございません。以上です。
2:18:38	規制庁仲田ですそれではこれでヒアリング終了させていただきたいと思えます。ありがとうございました。
2:18:48	ありがとうございました。
2:18:50	明日、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。